

彩の国さいたま芸術劇場

videodance2008 シリーズ2

舞台では見えないダンサーやクリエイターの表情に触れ、映像ならではのダンス、身体表現の魅力に出会える3日間。



program

2008.2.8 fri 18:00 - 19:30

■ Coffee with Pina 『コーヒー・ウィズ・ピナ』(2006年/51分)

振付: ピナ・バウシュ 出演: ピナ・バウシュ ヴッパタール舞踊団
監督: リー・ヤノール

ピナとダンサーたちのやり取りやハーサルや、舞台を見るピナに密着したドキュメンタリー作品。これまで見せてこなかったピナの素顔がうかがえる。

■ Véronique Doisneau 『ヴェロニク・ドワノー』(2005年/33分)

演出: ジェローム・ベル
出演: ヴェロニク・ドワノー (パリ・オペラ座バレエ団) 他
監督: ジェローム・ベル ビエール・ドゥブイ

オペラ座のダンサーを引退する42才のスジェ、ヴェロニク・ドワノーがオペラ座の広い舞台に一人立ち、それまで彼女が辿ってきた自身のダンサー人生を等身大で語りながら踊る。気鋭の振付家ジェローム・ベルが、妖精物語とはひと味違ったバレリーナ像を描く。

2.9 sat 15:30 - 17:30

■ Body, body on the wall...
ボディ・ボディ・オン・ザ・ウォール』(1997年/7分)振付・監督: ヤン・ファーブル ヴィム・ヴァンデケイユス
出演: ヴィム・ヴァンデケイユス

色彩の洪水のなかでひたすら乱舞するソロ・ダンス。ヤン・ファーブルはヴァンデケイユスの体をとらえて、見せ物として曝され、利用される身体を露わにする。

■ Here After 『ヒア・アフター』(2007年/64分)

振付・監督: ヴィム・ヴァンデケイユス 出演: ヴィム・ヴァンデケイユス 他
自然とそこにある身体の変遷のなかで、「暴力とは、苦しみとは、罪悪感とは何か」を問いつける。舞台作品「PUUR」のテーマを引き継いだ映像作品。

■ The Moebius Strip 『メビウス・ストリップ』(2002年/26分)

振付: ジル・ジョバン 監督: ヴィンセント・プラス

身体をモノとして提示しつつ、同時に皮膚の呼吸、筋肉などの微細で有機的な動きを追求。カメラワークによる効果が存分に発揮された映像作品。

2.10 sun 15:30 - 17:30

■ Tricodex 『トリコデックス』(2005年/51分)

振付: フィリップ・ドゥクフレ 出演: 国立リヨンオペラ座バレエ団

リヨンオペラ座バレエが上演したタイトル作品の舞台映像。フィリップ・ドゥクフレ・ワールドのエッセンスの集合体ともいえる、ファンタジックなダンス作品。

■ Blanche-Neige Episode #1

『白雪姫 エピソード #1』(2005年/14分)

監督: カトリーヌ・ベイ

フランスの気鋭造形アーティスト、カトリーヌ・ベイが監督した映像パフォーマンス作品。21世紀の白雪姫たちがカラシニコフを構える。

■ Véronique Doisneau 『ヴェロニク・ドワノー』(2005年/33分)

演出: ジェローム・ベル
出演: ヴェロニク・ドワノー (パリ・オペラ座バレエ団) 他
監督: ジェローム・ベル ビエール・ドゥブイ

未知の国への旅

文=佐々木涼子(舞踊評論家)

ビデオダンス、つまり過去のダンスをビデオで見るという企画には、実に大きな意味がある。ダンスは現前芸術とか瞬間の芸術などと言われるが、なべて創造は過去の蓄積の上に積み上げるもの。乗り越えるためにも、過去を知ることには現在の意味を深める。

それだけではない、ビデオは、ダンスという総合芸術に更なる次元を付け加える。ダンスをありのままに撮りつつも、尚かつそこにカメラという創造的なフィルターがかかるからだ。

昨年の第1回の『videodance』は、私にとって予想をはるかに超える素晴らしい経験だった。ピナ・バウシュとかヤン・ファーブルといったよく知っている振付家については、正面だけ知っていた建築の内部空間や奥行きを感じたような感動、それまで知らなかったシディ・ラルビ・シェルカウイは、それこそ世界の果ての未知の国を旅したような衝撃だった。

今年のお薦めは、パリ・オペラ座バレエで定年を迎えるダンサーを撮った『ヴェロニク・ドワノー』。私も泣き笑いして見たが、ダンスという営みについて深い人間的な側面を感じることに請け合い。『コーヒー・ウィズ・ピナ』は演出家というより一人の女性としてのピナを見せる。窓から雨を眺める目が何とも心に沁みる。意表を突く『白雪姫』は、現在の国際紛争と童話の真の意味について考えさせる、映像ならではの作品だ。

文学好きが古典を読むように、将来、ビデオでダンスを見る日がきつと来るにちがいない。

●●●● DANCE ●●●●

videodance 2008 シリーズ2

【日時】2月8日(金) 18:00 ~ 19:30

9日(土) 15:30 ~ 17:30

10日(日) 15:30 ~ 17:30

【会場】彩の国さいたま芸術劇場 映像ホール

【チケット(税込)】 好評発売中 全席自由 1日券 前売:500円/当日:700円